



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4123号 2018.1.6 発行

日本らしさ「折り紙」自販機が人気 栃木 日光



NHK ニュース 2018年1月5日  
 多くの外国人観光客が訪れる栃木県日光市の中心部に、障害者施設の入居者が作った日本らしさにあふれた折り紙の作品を販売する自動販売機が設置され、注目を集めています。  
 この自動販売機は宇都宮市に本社があるIT関連企業が、タバコの自動販売機を改造し、去年10月末に日光市中心部に設置しました。  
 「桜」や「だるま」の柄が入った折り紙で作った「鶴」や「かぶと」など5

つの作品を1セットにして200円で販売しています。

これらの作品はすべて日光市内の障害者就労支援施設の入居者が作り、買った人たちは「懐かしい気持ちになった」「外国人に人気が出そう」などと話しながら作品を手にとっていました。

この自動販売機を設置した会社、アクシスの和気悟志社長は、「購入した折り紙をクリスマスツリーに飾ってくれた外国人もいる。今後は、折り紙だけでなく、日本の文化が感じられるものを販売していきたい」と話していました。

野田聖子総務相、比訪問に重度障害の長男同行「ケア必要」 「夫のみに強いると親の役割果たせず」「一つのモデルに」 産経新聞 2018年1月5日  
 野田聖子総務相（斎藤良雄撮影）



野田聖子総務相は5日の記者会見で、9～11日にフィリピンを訪れ、私費で夫と重度の障害がある長男が同行すると明らかにした。「就寝中の夜間を含め随時のケアが必要な状況だ。出張中、配偶者にのみケアを強いると親の役割を果たせなくなる恐れがある」と説明した。

野田氏は今回の出張を女性活躍や働き方改革の推進の一環と位置づけた上で「今回が一つのモデルとして同様の悩みを抱える方々の参考となることを願う」と語った。

また、「私自身も公私の別をしっかりと確保する」と述べ、夫と長男の渡航費用に加え、ケアのため同じ部屋に泊まる自身の宿泊費も私費で負担するという。業務時間中は「家族とは接触しない」とし、「業務時間外に限り息子のケアをさせていただく」と語った。

## 【2017年（1-12月）】「医療、福祉事業」の倒産状況（2017年12月29日現在）

東京商工リサーチ 2018年1月5日

2018年度の診療報酬と介護報酬の同時改定を前に、2017年（1-12月）の「医療、福祉事業」の倒産は速報値で249件にのぼり、介護保険法が施行された2000年以降で最多に達した。

このうち、業種別で最も多かったのが「老人福祉・介護事業」の111件（前年比2.7%増）で、件数を押し上げた。

また、「医療、福祉事業」の負債総額も2年連続で前年を上回ったが、全体では負債1億円未満の小・零細規模が84.7%を占めるなど、小規模倒産が目立った。

高齢化社会の成長産業として注目される医療福祉業界だが、介護職員の人手不足が深刻化するなど、経営のかじ取りが難しさを増し、業界内では淘汰の動きが加速している。  
※調査対象の「医療、福祉事業」には、病院、医院、マッサージ業や鍼灸院などの療術業、老人福祉・介護事業などを含む。

### 2017年（1-12月）の「医療、福祉事業」倒産件数、2000年以降で最多



2017年（1-12月）の「医療、福祉事業」倒産件数は、速報値で249件（前年比10.1%増、前年226件）に達し、6年連続で前年を上回るとともに介護保険法が施行された2000年以降で最多になった。

#### 負債1億円未満の小規模倒産が17.8%増

2017年（1-12月）の負債総額は速報値で363億8,100万円（前年比18.7%増、前年306億4,500万円）になり2年連続で前年を上回った。

内訳では、負債10億円以上の大型倒産は9件（前年7件）と前年を上回ったが、倒産全体では負債1億円未満が211件（構成比84.7%）と8割を占め、前年比で17.8%増（前年179件）と小規模倒産が増勢をみせた。

#### 業種別、「老人福祉・介護事業」が2000年以降で最多を更新

業種別では、最多が「老人福祉・介護事業」の111件（前年比2.7%増、前年108件）で、介護保険法が施行された2000年以降で最多件数になった。次いで、マッサージ業、整体院、

整骨院、鍼灸院などを含む「療術業」が68件（同17.2%増、同58件）、「病院・医院」が27件（同12.9%減、同31件）、「障害者福祉事業」が23件（同109.0%増、同11件）など。

#### 原因別、販売不振が過半数

原因別では、最多が販売不振（業績不振）の137件（前年比2.1%減、前年140件）で、全体の過半数（構成比55.0%）を占めた。次いで、事業上の失敗が50件（前年比51.5%増、前年33件）、既往のシワ寄せ（赤字累積）が17件（同13.3%増、同15件）の順。

#### 「老人福祉・介護事業」の倒産原因、「事業上の失敗」が4割増

業種ごとの原因別をみると、「老人福祉・介護事業」は、最多の販売不振が51件（前年比26.0%減、前年69件）と前年を下回ったなかで、「事業上の失敗」が26件（同44.4%増、同18件）と増加ぶりが目立った。これは、安易な起業や本業不振のため異業種からの参入など、事前準備や事業計画が甘い小・零細規模の業者が思惑通りに業績を上げられず経営に行き詰まったケースが多いとみられる。

また、「療術業」では販売不振が53件（構成比77.9%）と約8割を占め、同業他社との厳しい競争を浮き彫りにした。「病院・医院」も販売不振が15件（同55.5%）と過半数を占めた。

#### 形態別、事業消滅型の破産が9割

形態別では、事業消滅型の破産が225件（前年比8.1%増、前年208件）と全体の9割（構成比90.3%）を占め、業績不振に陥った事業者の再建が難しいことを浮き彫りにした。

また、再建型の民事再生法は17件（前年11件）と増加した。この17件の主な内訳では「病院・医院」が6件、「療術業」が5件、「老人福祉・介護事業」が4件など。「病院・医院」の中には、地元では大規模な総合病院を運営していた地方の有力病院もみられた。

#### 地区別件数、9地区のうち5地区で増加

地区別では、全国9地区のすべてで倒産が発生した。近畿の87件（前年65件）を筆頭にして、関東73件（同72件）、九州26件（同28件）、中部26件（同23件）、中国16件（同8件）、北海道8件（同9件）、北陸5件（同7件）、東北4件（同11件）、四国4件（同3件）の順。

前年より上回ったのは、関東・中部・近畿・中国・四国の5地区。これに対して減少は北海道・東北・北陸・九州の4地区だった。

東京商工リサーチの調査では、全国の医療、福祉事業者1万4,834社の2017年3月期決算は、「増収増益」企業の構成比が33.1%に対し、「減収減益」企業も同29.1%と拮抗した。

さらに、「減益」企業は51.4%と半数を超え、同業との競合や人手不足を補うための人件費上昇が収益悪化につながり、収益確保が難しいことが透けて見える。

2018年度の診療・介護報酬の同時改定では、診療報酬が医師技術料などの「本体」部分を0.55%引き上げる一方で、「薬価」などの引き下げにより全体ではマイナス1%前後になる見通しになった。また、介護報酬は0.54%の引き上げに決定したが、通所介護での事業規模やサービス提供時間に応じた基本報酬の細分化など「給付適正化」も進められる方向である。

このように医療・福祉関連業界では、淘汰の動きに緩みがないことから、引き続き今後の動向から目を離せない。

#### あすから施設の利用者作品販売 ふれあいフェスタ 佐賀新聞 2018年1月6日

障害者の就労や社会参加の促進などを目的とした「ふれあいフェスタ in さが」（県授産施設協議会主催）が7、8の両日、佐賀市のイオン佐賀大和店で開かれる。障害者施設や作業所で作った野菜やパン、さをり織りなどの作品の展示販売や空くじなしの抽選会がある。

県内18事業所が参加し、今回で10回目。各事業所の商品力向上のために実施してい

る「新商品コンテスト」では、パンや手芸品など、それぞれの得意分野で考えた新商品が出品される。時間は両日とも午前10時～午後5時。6事業所による絵画や手芸品26点が並ぶ作品展も同時開催する。

## 尼崎市、医療と介護の連携拠点を設置へ



神戸新聞 2018年1月6日  
お年寄りの在宅医療体制の充実を図るため、兵庫県尼崎市は11日、医療と介護に携わる人たちの連携拠点「あまつなぎ」を同市医師会内に開設する。市内の医療機関や介護事業所などの情報、特徴を網羅し、それぞれからの相談に対応。患者や利用者の情報共有も進め、多職種による「チームアプローチ」で、住み慣れた場所での暮らしを支える。(岡西篤志)

篤志)

正式名称は、「尼崎市医療・介護連携支援センター」で、市の委託を受けた同市医師会が、市民健康開発センター「ハーティ21」(南塚口町4)内で運用を担う。

市内にはすでに、介護機能を持った医療機関などがあるが、国がさらなる連携強化を唱えていることもあり、全市的な仕組みづくりを進めることにした。

あまつなぎには、ケアマネジャーの資格を持った看護師や社会福祉士の計3人が常駐。かかりつけ医▽ケアマネジャー▽訪問看護師▽ヘルパー▽歯科医▽管理栄養士▽リハビリテーション専門職▽医療ソーシャルワーカー▽薬剤師—らからの相談に対応する。

例えば解決が期待されるのは、医療機関側の「患者が入院から通院に代わり、在宅で支える時、どういったサポートやサービスがあるのか」や、介護側の「今は在宅で元気なお年寄りだが、内科や眼科、耳鼻科などで往診できる医師はいるのか」といった悩み。

あまつなぎには、市内の病院や介護施設などの特徴を集約する予定で、地域性や利用者の状況を考慮した上で、最適な相手先を紹介するという。また、専門職に対する研修会や多職種を集めた事例検討会、終末期ケアや在宅みとりへの理解を深める市民講演会なども開いていく。

関係者による開設式は、11日午後1時半から同市医師会で行う。相談は月曜～金曜の午前9時～午後5時(祝日と12月29日～1月3日は除く)。あまつなぎTEL06・6423・9916(11日から)

## 休眠預金で公益活動を応援

公明新聞 2018年1月5日

### 1月から法律が施行 10年間放置の口座活用

#### 子ども・若者、生活困窮者、地方活性化など支援へ

預金残高がありながら、長期間放置されている「休眠預金」を、民間の公益活動に活用するための休眠預金活用法が1日、全面施行された。毎年発生している休眠預金を使うことで、行政の届かない社会的な課題に、きめ細かく対応できるようになると期待されている。

休眠預金活用法は、超党派による議員立法として2016年12月に成立した。休眠預金を使って、福祉や教育など公益性の高い取り組みを支援することで、共助社会の担い手育成をめざしている。

活用するのは、09年1月1日以降に最後の取り引きがあってから、10年以上放置されている口座。19年1月1日時点から発生する休眠預金は、既存の預金保険機構に移管した上で、



国が指定・監督する指定活用団体に資金として交付される。その後、指定活用団体は、公募で選んだ資金分配団体に助成・貸付を行う。現場で活動する NPO 法人などに対し助成・貸付・出資を行うのは、この資金分配団体となる。実際には、19 年秋ごろに NPO 法人などに資金が届くとみられる。

休眠預金となった後でも、預金者が銀行などに払い戻しを請求すれば、預金保険機構から銀行などを通じ、元本とそれまでの利息分も含め返還される。

休眠預金の活用には、透明性と公平性の確保が最も重要となる。現在、同法に基づく審議会で、活用に関する基本方針の策定に向けて議論が進む。活用の基本原則や指定活用団体が守るべきルールなどを含め、今年度内に取りまとめる予定だ。

休眠預金で後押しする団体の活動分野は（1）子どもや若者への支援（2）日常生活などを営む上で困難を有する者の支援（3）地域活性化などへの支援——の三つ。社会の変化に伴う新たな課題への対応も視野に、対象事業を幅広くしている。

現時点では、「児童養護施設入所者の進学支援と、退所者への共同住宅の提供」「障がい者の自立と社会参加を支援するためのベーカリー&カフェの運営」「高齢者の介護予防ストレッチの促進」などの活動がイメージされている。

福島市の県立医科大学付属病院で、がん治療などを受ける子どもと家族の滞在施設を運営する認定 NPO 法人「パンダハウスを育てる会」の山本佳子理事長は、休眠預金の活用について、「法的援助がない分野に取り組む NPO にとって、新たな支援の窓口が開かれることになり、とても貴重だ。多くの課題に社会の目が向けられる機会にもなる」と評価する。

### 公明が法整備を一貫してリード

公明党は、14 年 1 月から休眠預金の活用について検討を開始。同年 11 月に検討プロジェクトチームを立ち上げ、NPO 法人の現場関係者らからヒアリングを実施するなど、精力的に議論を重ねてきた。

一方、超党派議員連盟では、公明党が提案した「指定活用団体→資金分配団体→現場の団体」という活用スキームを反映した、自民・公明両党の有志による骨子案をベースに協議。16 年 12 月の法律成立まで、一貫して公明党が議論を主導してきた。

### 英国 ネットで検索可能

休眠預金の活用は、海外の先進事例を参考に検討されてきた。

英国では 2012 年 4 月から、15 年間取り引きのない預金について、協同組合銀行が管理する請求基金に移管して活用している。

現在は（1）低所得者などへの住宅提供（2）課題解決に向けた地域コミュニティーの形成（3）社会的課題が顕在化する前への対応——の 3 テーマに取り組む団体などに投資を行っている。

さらに、預金者保護の観点から、インターネットを通じて休眠預金をチェックできる検索システムを提供。休眠口座を簡易に探せるようにすることで、預金の返還に力を入れている。

01 年に法律が成立し、いち早く活用を始めたアイルランドでは、15 年間取り引きのない預金を国立財務管理局の休眠口座基金に移管。経済的・社会的弱者への支援、教育支援、障がい者への支援の 3 分野で活用している。

### 休眠預金

預金者が亡くなったり転居などに伴って、10 年以上放置され、連絡が付かない預金を指す。



毎年、新たに約 1000 万口の休眠口座が発生し、700 億円程度が銀行の収入として計上されている。出入金などの取り引きがないまま 9 年以上がたち、1 万円以上の口座残高がある預金者には金融機関から個別に通知される。

「これまでにない大会に」 知事、国体・障スポへ決意 中日新聞 2018 年 1 月 6 日 福井  
西川一誠知事は五日、県庁で年頭会見に臨み、今秋の福井国体・全国障害者スポーツ大会（国体・障スポ）の準備が予定通り進んでいるとした上で「国体と障スポの融合はしっかり押さえて、これまでにないような大会にする」と決意を述べた。

国体・障スポの課題としては選手・役員らの宿泊、送迎の方法、開閉会式来場者の誘導などがある。西川知事は「本番に準備を尽くして臨みたい」と語った。

### 2018年の主な県内予定

日程	内容	場所
1月下旬	県スポーツ特別賞（山口茜選手）表彰式	未定
3月24日	山里口御門完成記念式典	福井市中央公園
3月	舞鶴若狭自動車道三方五湖スマートインターチェンジ開通	若狭町
3～11月	幕末明治福井150年博	県立歴史博物館など
9月	年縞研究展示施設開館	若狭町
9月29日～10月9日	福井国体	県営陸上競技場など
10月13～15日	全国障害者スポーツ大会	〃
2018年度中	県、中国・浙江省友好提携25周年記念行事	

国体前に完成予定の道路も示された。国道では、8号福井バイパス（あわら市笹岡一坂井市丸岡町玄女）の五・四キロと416号大日峠道路（勝山市野向町横倉一石川県境）の三・八キロ、476号持越バイパス（池田町持越）の一キロ、476号西部アクセス道路（大野市城町一同

市犬山）の〇・七キロの四路線。

県道では、丸岡川西線の布施田橋（坂井市春江町布施田新一福井市布施田町）一・七キロがあり、いずれも九月上旬をめどに開通する見通し。完成後は、各市町の競技会場への交通利便性が向上する。

### 国体成功など今年の抱負を語る西川知事＝県庁で

県が二〇一五年度に始めた募金・協賛事業では現在、民間企業・団体などから五億円余りが寄せられた。これまでに競技会場にあるトイレの洋式化や機運醸成に向けた広告費などに二億円余りが使われた。

一八年の主な県内予定も発表された。三月に舞鶴若狭自動車道三方五湖スマートインターチェンジ（若狭町）が開通し、九月には年縞（ねんこう）研究展示施設（同）が開館する。三～十一月には幕末明治福井百五十年博が開かれる。（山本洋児）



### 東京五輪ロボット活用計画策定へ 観客のおもてなし 共同通信 2018年1月5日

2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会が、大会運営や観客のおもてなしでの最先端ロボット技術活用に向け、3月をめどに実施計画案を策定する見通しであることが5日、関係者への取材で分かった。既に東京都や関係省庁、民間企業と意見交換を始めており、本格的な運用の検討に入る。大会ビジョンの「史上最もイノベティブ（革新的）な大会」を目指す取り組みとして注目される。

競技会場内や最寄り駅からの案内のほか、外国人向けの多言語サービス、高齢者や障害者を意識した荷物運搬サポートなど、多方面で活用が検討される見通し。各競技のテスト大会で試験運用した上で本番を迎える計画だ。

昨年10月には人工知能（AI）を搭載した「卓球ロボット」が、リオデジャネイロ五輪銅メダリストの水谷隼選手に挑戦した。会場などで観客がこうしたロボットとの「スポーツ体験」を楽しめる企画の構想もある。組織委関係者は「人間との共生、おもてなしが（ロボット活用の）コンセプトの柱」と述べた。

空の玄関口となる羽田空港でも昨年から、センサーで不審者を見つける警備ロボットや翻訳機能を持つ案内ロボットの実証実験が始まっており、東京大会では選手村や競技会場でロボットが多様なニーズに対応することが期待される。大会関係者は「オールジャパン態勢で新しい21世紀型の五輪を目指したい」と話している。

## 歯周病で認知症悪化 脳の「ゴミ」増加が原因 月舘彩子 朝日新聞 2018年1月6日

歯周病が認知症の症状を悪化させる仕組みを、国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）、名古屋市立大学などの研究グループが解明した。歯周病菌の毒素がアルツハイマー病の原因とされる脳の「ゴミ」を増やし、認知症の症状が悪化するという。

研究成果が、英専門誌の電子版に掲載された。認知症の6割を占めるとされるアルツハイマー病は、脳の神経細胞の中にアミロイドβというたんぱく質の「ゴミ」がたまり、神経細胞が徐々に死滅することが原因と考えられている。

研究グループは、アルツハイマー病を発症するマウスに歯周病菌を感染させて、歯周病ではないアルツハイマー病のマウスの脳と比較した。5週間後、歯周病のマウスでは記憶をつかさどる海馬でアミロイドβの量が約1・4倍に増えていた。さらに、記憶学習能力を調べる実験でも、歯周病のマウスでは認知機能が低下していたという。

### 歯周病でアルツハイマー病が悪化する仕組み



## （社説）AI時代の人間 豊かな活用に道開くため 朝日新聞 2018年1月6日

人工知能（AI）のセミナーやシンポジウムが花盛りだ。

車の自動運転に代表される、AIがもたらす明るく快適な未来。その裏側で、人間の制御を超えて世界を根底から変えてしまう「シンギュラリティ（技術的特異点）」と呼ばれる事態が訪れるのではないか、という漠とした不安も広がる。

技術は時として、予想をはるかに上回る速度で進む。AIもそんな段階に入ったのか。人間はAIにどう向き合うべきか。そして、これからの時代に備えた人づくりとは――。

本格的に考えなければならない時期に来ている。

### ■笑顔と失業と

いまの社会的ブームの大きなきっかけは、2年前に囲碁AI「アルファ碁」が世界最強とされた棋士を破ったことだった。

データ処理能力の飛躍的進歩が生んだAIは、生活を豊かに変える可能性を秘める。

静岡大学の竹林洋一特任教授らは、高齢者介護の質の向上に活用しようとしている。

お年寄りへの声のかけ方ひとつをとっても、介護する者の姿勢や位置、音の調子、高低、タッチの有無など、多くの要素から成る。実際の画像をもとにそれらを解析すれば、お年寄りを笑顔にするアプローチを定式化できる。優れた介護者の育成に役立つだけでなく、認知症に関する知見の深化や理解につながることを期待される。

一方、AI時代に対する不安の中で、最も現実味をもって語られるのが雇用への影響だ。

AI搭載のロボットは複雑な生産現場にも進出するだろう。大量で多様なデータを公



正・迅速に評価することが求められる市場調査、融資の判断、さらには人事業務にも導入が進む。十数年後にはホワイトカラーの仕事の半分がAIに置き換えられるという見方もある。

#### ■人にしかできぬこと

AIを活用しつつ、人間らしく働き、生活するにはどうしたらいいのか。

「AIは統計などを使って機械的に答えを出すだけで、物事の意味はわかっていない。だから、その意味を理解し、適切に状況判断できる能力を養うことが、人にとって何より大切だ」

国立情報学研究所の新井紀子教授はそう話す。

基本となるのは、正確に読み正確に書くという、昔ながらの力だという。デジタル時代は、メールなど文字情報のやりとりが仕事に占める割合が高く、「誤読や表現力不足によってつまづくことが少なくない」と見る。教科書や新聞の文章を使った読解力テストを独自に開発し、中高生らに受けてもらって弱点を探っている。

結果は、能動態と受動態の違いに気がつかない、文章で説明されている内容に合致する図が選べない—など、決して芳しいものではない。

だが、嘆いていても始まらない。協力した学校の先生たちからは、「分かっていないことが分かった」ことを前向きにとらえ、授業方法の改善を探る動きが出ているという。

人間は計算力や記憶力でコンピューターに及ばない。それでも困らないのは、道具として使いこなせているからだ。AIについても本質は変わらない。大切なのは、AIをどう制御し、人間の幸せのために役立てるかを考え、その方向に社会を構築していくことだ。

#### ■アシロマの挑戦再び

昨年1月、米カリフォルニア州アシロマに、AI研究者や法律、倫理、哲学などの専門家が集い、AI開発に際して守るべき23の原則をまとめた。

「人間の尊厳、権利、自由、文化的多様性に適合するように設計され、運用されるべきである」といった理念をかかげ、AI軍拡競争の回避や研究者同士の協力、政策立案者との健全な交流なども盛り込んだ。

このアシロマ原則は各国政府や多くの研究者を刺激し、さらに具体的な指針づくりをめざす動きが盛んになっている。

日本の人工知能学会倫理委員会は、米国の学会やNPOと提携して、インターネットを使った市民対話を開いている。

「公益のためのAI」や「労働に対するAIの影響」などのテーマ別に、誰でも、投稿された意見や疑問を読み、自ら書き込むことができる。ことし2月まで意見を交換し、それを踏まえて実行可能な政策を提言することをめざしている。

国家や企業が入り乱れて開発を競うなか、いかに秩序を維持し、人類の幸福につなげるか。

難題ではある。だがアシロマといえ、43年前に世界の科学者が集まって遺伝子組み換え技術の研究指針を議論し、一定の規制を実現させた、科学史にその名を刻む地だ。

AIの専門家にかぎらず、人文・社会科学の研究者らも広く巻きこみ、政治家や官僚、そして市民との対話を重ねる。その営みが人間中心の社会でのAI活用につながると信じていたい。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

